

受賞者氏名	大森 翔子	
所属	社会学部メディア社会学科	
受賞年月日	2024 年 3 月 21 日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益財団法人電気通信普及財団	
受賞名	第 39 回電気通信普及財団賞 テレコム人文学・社会科学賞 奨励賞	
受賞(研究)内容詳細	大森翔子(2023)『メディア変革期の政治コミュニケーション: ネット時代は何を変えるのか』勁草書房. 受賞対象著作は、日本における最新のメディアを通じた政治コミュニケーションの諸相を様々な調査および実験により検討したものである。 主要な知見として、ワイドショーに代表される「ソフトニュース」の視聴が有権者の政治意識に与える効果は、ニュースの登場人物や視聴者の生活との関わりを解説するフォーカス面が政治関心などに対してポジティブな影響を与える一方、レポーターの個人的見解や、否定的で感情的な言葉を伴うスタイル面が、政治的シニシズムの助長などネガティブな影響を与えることを明らかにした。加えて、有権者のニュース利用パターンは、新聞やテレビを基本にする者は 4 割を切り、ポータルサイトが多くの接触パターンで利用されていること、ポータルサイトを模した実験では、ニュースの配信元が全国紙など伝統メディアであるときと、週刊誌や個人であるときとで、有権者のニュースの信頼度認識にほとんど差は見られないことが明らかになった。 受賞対象著作の内容は学術性を維持しつつ、一般の人にも読みやすく、理解しやすいことを評価され、受賞に至った。 https://www.taf.or.jp/files/items/2137/File/telecom1_39.pdf	